

9/21 なかよし教室でサッカー体験

三戸小児童とヴァンラーレ選手たちが交流

三戸町老人福祉センター内のなかよし教室に通う小中一貫三戸学園三戸小学校1～3年生の児童11人が、三戸小学校体育館で行われたヴァンラーレ八戸サッカー教室に参加しました。教室では、三戸町応援大使である^{つたはやて}蔦颯選手と島田拓海選手、赤坂健介アシスタントコーチの3人が講師を務め、児童たちに向けて、ボールを使って体を動かす楽しさを伝えました。

参加した佐々木^{いっしゅう}一終くん（三戸小2年）は「みんなでたくさんシュートをして楽しかったです。上手に蹴ってゴールも決められました」と笑顔で話しました。



サッカー楽しい!



(左から) 金治さん、松尾町長

9/22 松原金治さん、100歳おめでとう

目標を持つことが、元気の秘けつ

松原金治さん（大正11年9月21日生まれ）が、めでたく100歳の誕生日を迎え、グループホーム鶴亀において、松尾和彦町長から顕彰状と祝い金、記念品としてリンゴジュースが手渡されました。金治さんは、三戸町豊川地区で5人兄弟の長男として

生まれ、子どもが2人、孫が4人、ひ孫が3人います。町役場や青森県国保連合会で勤務したあと、町議会議員を4期16年務めました。天気が良い日に外を散歩することが大好きな金治さんは「100歳を迎えられるとは思っていませんでした。目標を持って物事に取り組むことが生きがいです」と元気の秘けつを話しました。

9/24 映画「日本一の晴れ男」初上映

地元舞台の映画で、三戸を元気に

全国各地の大学生らで構成された映画制作団体「^{れいち}黎地フィルム」（山崎すがら代表）は、ことし3月に三戸町で撮影した映画「日本一の晴れ男」をジョイワーク三戸で初上映しました。上映会に訪れた約100人の来場者は、三戸の魅力が詰まった「SF哲学ミュー



出演した黎地フィルムのメンバー

ジカルコメディ」を楽しみました。上映後は、出演者4人がステージに上がり、観覧者に向けてあいさつを行いました。山崎代表は「三戸町は名前も知らない町でしたが、今は第2の故郷です。協力してくれた町民の皆さんには頭が上がりません」と感謝の言葉を述べました。松尾和彦町長は「三戸の歴史や文化を勉強して制作されており、作品に対する本気さを感じました。多くの人に映画を見てもらい、三戸を堪能してほしい」と話しました。その後、県立三戸高等学校放送部が黎地フィルムを密着取材し制作したドキュメンタリー「晴れ男の物語」を上映。放送部部長の貝守竜哉さん（2年）は「ドキュメンタリーの制作は、動画づくりの勉強になる貴重な体験でした」と振り返りました。弘前市在住で黎地フィルムにクラウドファンディングした成田光美さんは「笑えるような楽しく見られる作品でした。これからも映画の制作をしてほしい」と感想を話しました。

9/29 町に新たな「博愛号」を配置

町民の安全と健康・福祉のため活用

日本赤十字社青森県支部（三村申吾支部長）では、各市町村に地域住民の安全と健康の保持増進、福祉の向上を目的として赤十字救援車「博愛号」を配置しています。今年度、三戸町分区に新たな車両が配置されるに伴い、配置式が行われました。青森県支部の工藤順巳副支部長は「地域の赤十字のシンボルとして、平時は町民のために、被災時は被災者のために活用してほしい」と三村支部長のメッセージを代読しました。松尾和彦三戸町分区長は「町民の安全と健康・福祉の増進に向けた活動に活用します」と感謝の言葉を述べました。



(左から) 工藤副支部長、松尾町長



(左から) 中村局長、橋本局長、
慶長教育長、松尾町長

10/3 日本郵便東北支社がフレーム切手を寄贈

三戸城跡の特別フレーム切手が登場！

日本郵便東北支社は、三戸城跡の国史跡指定を記念して制作したフレーム切手の贈呈式を、鍛冶屋門跡石垣前で行いました。式では、日本郵便の青森県東部地区統括局長を務める中村天七戸郵便局長と橋本正俊三戸郵便局長が、松尾和彦町長と慶長隆光教育長にフレーム切手を手渡しました。中村局長は「この取り組みが地域貢献につながってくれるとうれしい」とあいさつしました。松尾町長は「この切手を通して、多くの人が三戸や南部家の歴史に興味をもってほしい」と願いを込めました。

10/3 法人会が町に図書カードを寄贈

図書コーナー充実のために活用

八戸法人会三戸支部（石亀和郎支部長）が、子どもたちに読書を推進するため、町に3万円分の図書カードを寄贈しました。この事業は、ことしで13年目を迎えました。町では、これまで寄贈いただいた図書を法人会専用の図書コーナーに蔵書しています。石亀支部長は「図書コーナーの本を充実させるため、これからも活動を続けます。有効に活用してほしい」と話し、松尾和彦町長に図書カードを手渡しました。松尾町長は「寄付のおかげで図書が増え、町内外から多くの利用者が訪れるようになりました。感謝しています」とお礼の言葉を述べました。



(左から) 松尾町長、石亀支部長



支社従業員の皆さんと
松尾町長（中央右）

10/3 明治安田生命が町に寄附

町民の健康に資する取り組みに活用

明治安田生命保険相互会社八戸支社（齋藤浩二郎支社長）は、豊かな地域づくりの応援のため行っている「私の地元応援募金（従業員募金と同社寄附金）」10万5千円を町に寄附しました。齋藤支社長と従業員が役場を訪れ、目録の贈呈を受けた松尾和彦町長は「町民の健康に資するよう、さまざまな取り組みに活用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。齋藤支社長は「いつまでも元気あふれる町でいられるよう願っています」と話しました。